

パナソニック(株)

製品種類: テレビ

機種名: TH-55LX950

販売年度: 2022年



評価項目(アセスメント評価項目)

番号	取組項目	説明
1	減量化・減容化	✓
2	再生資源・再生部品の使用	
3	包装	
4	製造段階における環境負荷低減	
5	輸送の容易化	
6	使用段階における省エネ・省資源等	✓
7	長期使用の促進	
8	収集・運搬の容易化	
9	再資源化等の可能性の向上	
10	手解体・分別処理の容易化	✓
11	破碎・選別処理の容易化	
12	環境保全性	✓
13	安全性	✓
14	情報の提供	
15	LCA (ライフサイクルアセスメント)	

製品アセスメントの概要

システムLSIプロセスの小型化・集積化・省エネ化の技術進歩を背景に、従来比でSoCの統合が加速。減量化・減容化を目的として統合型のSoCを継続採用し、さらなる放熱板縮小化を実現した。さらにTVスタンドの仕様/構造の変更により板金の板厚を削減し減量化を実現した。

改善の具体的内容

[] 中の数字は関連する評価項目の番号です。

1. 減量化・減容化 [1]

【新規】

統合型SoCの継続採用とLCDパネル仕様/構造の変更による放熱設計仕様の改善により、基板面積同等を維持しつつ、さらなる放熱フィンの小型化（109g→70g、約35%削減）を実現。※ TVスタンドの仕様/構造の変更により板金の板厚を削減し減量化（厚み：4.0mm→2.3mm、重さ：約3.4Kg→約2.1Kg、約38%減）※

2. 安全性 [13]

地震に強く、倒れにくい吸着式の「転倒防止スタンド」を継続採用。スタンド底面に設置面から離れる力が働くとテレビ台にしっかり吸着し転倒を防ぐ。また、吸着操作スイッチにより吸着解除が可能。

3. 手解体・分別処理の容易化 [10]

転倒防止スタンドの市場導入時比で、部品点数を削減したスライドスイッチを継続採用。

4. 使用段階における省エネ・省資源等 [6]

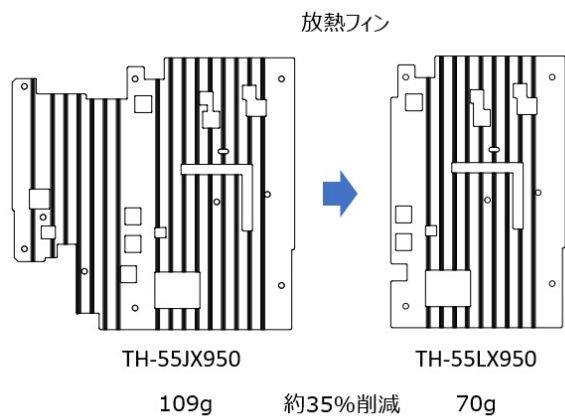
「エコナビ」による以下の節電機能を継続採用。
・部屋の明るさを検知し自動的に画面の明るさを調整（環境光センサー機能）
・映像信号がない場合は自動で電源オフし、テレビの消し忘れによる無駄な電気も節電（無信号自動電源オフ機能）

5. 環境保全性 [12]

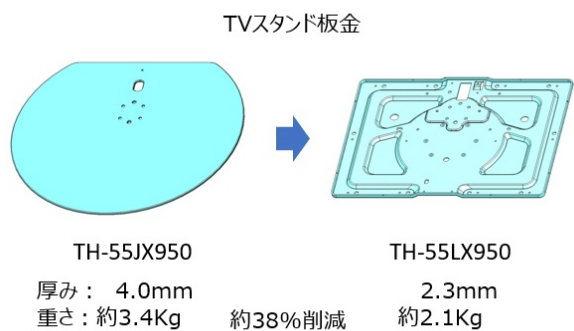
J-Mossに対応すると共に、特定可塑性材（DIB、DBP、BBP、DEHP）の不使用を継続。

※比較対象機種：TH-55JX950

構造等の図



放熱フィン（左：前年度、右：今年度）



TVスタンド板金（左：前年度、右：今年度）